

2001年度 総会議題

議案 1.

2000年度事業報告

1. 会員数の動向 (2001年3月31日)

会員数合計 4512(昨年より -67)

通常会員 3,982(-64)

一般 A 2,780(-18)

B 906 (-31)

学生 A 242 (+2)

B 54 (-17)

特別会員 188(-3)

個人 53(-1)

団体 135(-2)

団体会員 291 (0)

団体 A 123(+5)

B 168(-5)

賛助会員 43 (0)

名誉会員 8 (0)

2. 機関誌等の刊行

(1) 天気 47巻4号~48巻3号 12冊(855頁)

昨年度より31ページ増。各号約4650部印刷

(2) 気象集誌 78巻2号~79巻1B号7冊(1408頁)

昨年度より290ページ増。各号1900部印刷

(3) 気象研究ノート

198号 「温帯低気圧の力学」

154頁 1850部印刷

199号 「地表面フラックス測定法」

242頁 2000部印刷

(4) 予稿集 春季大会 1500部印刷

秋季大会 1550部印刷

3. 会議等の開催

(1) 総会 2000年5月25日筑波国際会議場

出席者: 117名、総会参加票: 2,801名

計: 2,918名

ア 1999年度事業報告・決算報告、

2000年度事業計画・予算が承認された。

イ 第31期日本気象学会役員選任が承認された。

(2) 理事会

第30期(第7回) 2000年5月24日筑波

第30・31期新・旧理事・監事合同会議

2000年6月19日 東京

第31期(第1回) 2000年6月19日東京

第31期(第2回) 2000年10月18日京都

第31期(第3回) 2001年3月19日東京

(3) 常任理事会

第30期(第19回) 気象学会事務室

第30期(第20回) つくば国際会議場

第30期(第21回) 気象学会事務室

第31期(第1,2回) 気象学会事務室

第31期(第3回) 京都テルサ

第31期(第4~7回) 気象学会事務室

第31期(第8回) 気象庁予報部会議室

(4) 評議員会

第31期 第1回 2001年3月19日

会場: 気象庁予報部会議室

4. 大会及び研究会等

(1) 春季大会 2000年5月24~26日

会場: つくば国際会議場

(担当: 気象研究所)

シンポジウム: 21世紀の気候変化

—予測とそのままの—

(2) 秋季大会 2000年10月18~20日

会場: 京都テルサ

(担当: 関西支部)

シンポジウム: 人工衛星からの大気観測

—その歴史的展望—

(3) 研究会、月例会等

ア IGBP/GAIM 研究連絡会

京都 2000年10月21日

イ 極域・寒冷域研究連絡会

つくば 2000年5月26日

京都 2000年10月20日

ウ メソ気象研究連絡会

つくば 2000年5月23日

京都 2000年10月17日

エ オゾン研究連絡会

つくば 2000年5月24日

京都 2000年10月18日

オ シンポジウム「気象学に開かれゆく世界」

つくば 2000年5月23日

京都 2000年10月17日

カ 第12回夏の学校

千歳 2000年7月14~16日

キ 第44回山の気象シンポジウム

東京 2000年6月17日

ク 長期予報と大気循環

東京 2000年10月31日

ケ 気象教育研究連絡会

筑波 2000年5月24日

京都 2000年10月19日

(4) 他学会との共催等

ア 第37回理工学における同位元素研究

発表会 2000年7月3~5日

イ 第17回アロハ科学技術研究討論会

2000年8月2,4日

ウ シンポジウム「地球温暖化と季節推移」

- 2000年10月21日
 イ 風災害フォーラム「強風災害の変遷と教訓
 21世紀を前に」 2000年11月6日
 オ 第16回風工学に関するシンポジウム
 2000年11月29～12月1日
 カ 第50回理論応用力学講演会
 2001年1月23～25日
 キ 気候講演会「新世紀の気候—異常気象、
 気候変動、地球温暖化—」
 2001年2月3日
 ク 第47回風に関するシンポジウム
 2001年3月16日

5. 研究業績の表彰

- ア 日本気象学会賞
 斉藤 和雄 気象研究所
 イ 藤原賞
 菊地 勝弘 秋田県立大学
 佐々木嘉和 杵杵大学
 ウ 山本・正野論文賞
 日暮 明子 国立環境研究所
 藤原 正智 北海道大学
 エ 堀内賞
 小池 俊雄 東京大学
 オ 奨励賞
 加藤 廣 仙台管区気象台
 黒良 龍太 広島地方気象台

6. 支部活動

- (1) 北海道支部
 ア 研究発表会 (札幌) 2000年6月5日
 (札幌) 2000年11月15日
 イ 講演会 (江別) 2000年10月28日
 (2) 東北支部
 ア 気象講演会 (山形) 2000年10月12日
 イ 支部講演会 (仙台) 2000年11月29日
 (3) 中部支部
 ア 総会 (名古屋) 2000年7月14日
 イ 研究会 (名古屋) 2000年11月21, 22日
 (4) 関西支部
 ア 総会・年会 (大阪) 2000年6月13日
 イ 例会・講演会 (松山) 2000年11月21日
 (岡山) 2000年11月24日
 (神戸) 2001年2月14日
 (5) 九州支部
 ア 支部講演会 (福岡) 2001年3月3日
 (6) 沖縄支部
 ア 親と子のお天気教室
 (那覇) 2000年7月29日
 イ 防災気象講演会 (那覇) 2000年9月21日
 ウ 気象研究会 (平良) 2000年11月9, 10日

7. 普及活動

- (1) 第34回夏季大学
 2000年8月23～25日
 東京大学山上会館 (本郷キャンパス内)
 「新しい気象学」—雲をつかむ—
 (2) 関西支部第22回夏季大学
 2000年7月25, 26日 大阪市立科学館
 「リモートセンシングと気象」
 (3) 北海道支部第18回夏季大学
 2000年7月26, 27日
 第1日目 札幌市青少年科学館
 第2日目 北海道大学低温科学研究所
 「新しい気象」
 (4) 中部支部 第7回気象講座
 2000年8月21日 名古屋
 一天気予報の昔、今、将来—
 (5) 気象技術講習会
 ア 気象学の基礎 (第3回)
 2000年6月7日～9月20日 (毎週水曜日)
 イ 専門課程 (第3回) 民間気象予報の技術
 2000年12月18～20日

8. 国際学術交流活動

- 国際学術研究会参加補助 (4名)
 1) ICCP (アムカ・バグ州)
 橋本 明弘 (北海道大学)
 2) 都市気候シンポジウム(ドイツ・エッセン)
 大橋 唯太 (京都大学)
 3) 成層流体シンポジウム(カナダ・バンクーバー)
 森 厚 (東京学芸大学)
 4) 大気化学シンポジウム(アメリカ・ニューアーク)
 谷本 浩志 (東京大学)

9. 電子情報関連

- (1) 文部省学術情報センターによる電子図書館
 サービス運用開始
 気象学会の機関誌(気象集誌・天気)も電子化され
 インターネットを通してユーザーに閲覧可能となった
 (2) 学術情報センターによる気象学会編「学術用語集」
 データベース作成・公開

10. その他

- (1) IUGG/IAMAS 総会 (気象学会代表木田理事)
 及び研究発表会(気象学会員多数)への参加

会計報告書表

収支計算書

(社団法人) 日本気象学会

1. 収入の部 (1)	勘定科目	予算額 (A)	決算額 (B)	内		2,000年度		達成率 (B/A)	備考
				公益部門	収益部門	差異 (B-A)	2000年4月1日～ 2001年3月31日		
1. 会費収入	通常会員	39,701,000	41,145,850	41,145,850		1,444,850	103.6%	前年度前受会費含む 同上	
	特別会員	30,172,000	31,183,308	31,183,308		1,011,308	103.4%		
	団体会員	720,000	1,120,612	1,120,612		400,612	155.6%		
	賛助会員	5,859,000	5,933,190	5,933,190		74,190	101.3%		
	基本財産運用	2,950,000	2,908,740	2,908,740		△41,260	98.6%		
2. 一般基金	一般基金	564,995	592,715	592,715		27,720	104.9%	基金 藤原、山本・正野、堀内	
	国際交流基金	253,475	144,768	144,768		△108,707	57.1%		
3. 事業収入	国際交流基金	311,520	447,947	447,947		136,427	143.8%	(取) 広告料、別刷代 (公) 投稿料 (取) 別刷代 (取) 広告料 春秋大会参加費等 夏季大学受講料、テキスト 刊行物の直接販売等	
	天気	38,878,000	35,530,834	17,586,367	17,944,467	△3,347,166	91.4%		
	気象雑誌	6,985,000	6,565,139	845,717	5,719,422	△419,861	94.0%		
	気象研究ノート	7,020,000	7,010,759	5,722,914	1,287,845	△9,241	99.9%		
	予報集	11,885,000	7,469,660	7,469,660	7,469,660	△4,415,340	62.8%		
	大会開催	6,152,000	7,249,588	6,240,838	1,008,750	1,097,588	117.8%		
	教育と普及	3,080,000	3,442,040	3,442,040		362,040	111.8%		
	書店扱	886,000	994,780	994,780		108,780	112.3%		
	業務受託	2,665,000	2,458,790	2,458,790		△206,210	92.3%		
	その他事業収入	205,000	210,000	210,000		210,000	****		
4. 補助金収入	科学研究所	4,510,000	3,800,000	3,800,000		△710,000	84.3%	刊行物の直接販売等	
	その他	0	3,800,000	3,800,000		△710,000	84.3%		
5. 寄付金収入	寄付金	0	0	0		0	****	****	
	募付金	0	0	0		0	****		
	募金	0	0	0		0	****		
6. 基本財産取崩収入	一般基金	0	0	0		0	****	****	
	国際交流基金	0	0	0		0	****		

収支計算書

1. 収入の部 (2)	勤定科目	2,000年度						達成率 (B/A)	備考
		予算額 (A)	決算額 (B)	内		差異 (B-A)			
				公益部門	収益部門				
7. 引当金取崩収入	0	0	0	0	0	0	****		
退贈金引当金	0	0	0	0	0	0	****		
8. 雑収入									
受取利息	502,900	776,096	742,003	34,093	273,196	154.3%			
著作権複写許可料	32,900	202,094	202,094		169,194	614.3%			
印税	420,000	279,509	279,509		△140,491	66.5%			
その他雑収	50,000	34,093	34,093	34,093	△15,907	68.2%			
当期(雑)収入合計	0	260,400	260,400	0	260,400	****		課納入金郵便料受取人負担保金	
前期繰越収支差額	84,156,895	81,845,495	63,866,935	17,978,560	△2,311,400	97.3%			
(雑)収入合計	16,489,971	16,489,971	14,776,648	1,713,323	0	100.0%			
収益から公益へ寄付	100,646,866	98,335,466	78,643,583	19,691,883	△2,311,400	97.7%			
当期収入合計	2,360,000	2,360,000	2,360,000		2,360,000	****			
収入合計	84,205,495	100,695,466	66,226,935	17,978,560					
			81,003,583	19,691,883					

2. 支出の部 (1)	勤定科目	2,000年度						達成率 (B/A)	備考
		予算額 (A)	決算額 (B)	内		差異 (B-A)			
				公益部門	収益部門				
1. 事業費									
天気	58,564,000	49,069,513	40,853,344	8,216,169	△9,494,487	83.8%			
印刷製本費	25,946,000	23,623,268	20,575,871	3,047,397	△2,322,732	91.0%		(取) 広告、別刷経費	
編集委員会費	19961000	17,693,084	14,687,732	3,005,352	△2,267,916	88.6%			
通信運搬費	1200000	1,200,000	1,200,000		0	100.0%			
気象集誌	4785000	4,730,184	4,688,139	42,045	△54,816	98.9%			
印刷製本費	11,794,000	11,732,583	10,659,476	1,073,107	△61,417	99.5%		(取) 別刷経費	
編集委員会費	8,150,000	8,664,719	7,749,707	915,012	514,719	106.3%			
校正料	1,289,000	1,289,000	1,289,000		0	100.0%			
通信運搬費	600,000	409,497	409,497		△190,503	68.2%			
	1,755,000	1,369,367	1,211,272	158,095	△385,633	78.0%			

会計報告書表

(社団法人) 日本気象学会

収支計算書

勘定科目	2,000年度		達成率 (B/A)	備考		
	子算額 (A)	決算額 (B)			差異 (B-A)	
						内 訳
	公益部門	収益部門				
2. 支出の部 (4)						
電子情報	170,000	149,447	112,085	37,362	87.9%	
電算機開発管理	380,000	376,146	282,109	94,037	99.0%	
総会・役員会	1,961,000	1,443,524	1,082,643	360,881	73.6%	
選挙費用	0	0	0	0	****	
支部交付金	2,500,000	2,421,700	1,816,275	605,425	96.9%	
租税公課	30,000	0	0	0	0.0%	
その他	0	260,400	260,400	0	****	
3. 基本財産繰入	0	0	0	0	****	
一般基金	0	0	0	0	****	
国際交流基金	0	0	0	0	****	
4. 引当金繰入	624,000	629,971	629,971	5,971	101.0%	
退職金引当金	624,000	629,971	629,971	5,971	101.0%	
5. 予備費	1,000,000	0	0	0	0.0%	
当期 (純) 支出合計	87,666,000	76,318,214	61,611,946	14,706,268	87.1%	
当期 (純) 収支差額	△3,509,105	5,527,281	2,254,989	3,272,292	****	
税引前次期繰越収支差額	12,980,866	22,017,252	17,031,637	4,985,615	169.6%	
法人税等引当金繰入		800,000		800,000	****	
収益から公益へ寄付		2,360,000		2,360,000	****	
税引後当期支出合計		79,478,214	61,611,946	17,866,268	****	
次期繰越収支差額		21,217,252	19,391,637	1,825,615	****	
						過剰納金返却郵便料受取人払担保金

損益計算書

2,000年度 2000年4月1日～ 2001年 3月31日

	損失の部 (円)	2,000年度 2000年4月1日～	利益の部 (円)	2001年 3月31日
事業支出	8,216,169	事業収入	9,928,450	
印刷製本費	7,097,800	気象研究ノート収入	7,469,660	
原稿料	184,800	書店扱収入	2,458,790	
編集費	335,000			
通信運搬費	598,569			
運営基本支出	6,640,165	その他の収入	8,050,110	
職員給料	3,084,895	受取利息収入	0	
福利厚生費	174,893	別冊収入	1,999,767	
臨時雇用賃金	443,510	広告料収入	6,016,250	
事務局関連経費	1,689,096	印税収入	34,093	
電子情報	37,362			
電算機開発管理	94,037			
総会・役員会	360,881			
運営費用	0			
支部交付金	605,425			
租税公課	0			
その他	150,066			
期首棚卸	2,133,324	期末棚卸	2,175,437	
費用合計	16,989,658	収入合計	20,153,997	
当期控引前利益	3,164,339			
法人税等引当金繰出	800,000			
公益事業に寄付	2,360,000			
前期繰越金	4,089,797			
当期繰越金	4,094,136			

(繰越金には棚卸資産が含まれる)

貸借対照表

2,000年度

2001年

3月31日

勘定科目	合計	内		訳
		公益部門	収益部門	
I 資産の部	113,530,655	108,161,119	5,369,536	
(資産合計)	113,530,655	108,161,119	5,369,536	
1. 流動資産	55,195,563	49,919,111	5,276,452	
現金	88,338	538	88,300	
普通預金	7,372,025	4,359,310	3,012,715	
郵便振替貯金	28,438,636	28,438,636	0	
公社債信託	17,120,627	17,120,627	0	
(小計)	(53,020,126)	(49,919,111)	(3,101,015)	
棚卸資産	2,175,437	0	2,175,437	
2. 固定資産	58,335,092	58,242,008	93,084	
(1) 基本財産	53,972,955	53,972,955		
貸付信託・預金	22,362,955	22,362,955		
公社債信託	31,610,000	31,610,000		
(2) その他	4,362,137	4,269,053	93,084	
MMF (退職引当)	3,082,951	3,082,951		
什器備品	1,279,186	1,186,102	93,084	
(負債合計)	34,895,825	33,610,425	1,275,400	
II 負債の部	31,802,874	30,527,474	1,275,400	
1. 流動負債	0	0		
前受会費	30,527,474	30,527,474		
預り金	1,275,400		1,275,400	
法人税等引当金				
2. 固定負債	3,082,951	3,082,951		
退職金引当金	3,082,951	3,082,951		
III 正味財産の部	78,644,830	74,560,694	4,094,136	
(うち基本財産)	(53,972,955)	(53,972,955)		
負債および正味財産の合計	113,530,655	108,161,119	5,369,536	

財産目録

2001年 3月 31日 現在

資産総額 113,530,655 円

種類	預入先	金額(円)	備考
1. 基本財産			
貸付信託・預金	住友信託銀行 日比谷支店	10,000,000	基本金
	三和銀行 東京営業部	6,500,000	山本・正野論文賞
	〃	1,750,000	基本金
	〃	600,000	堀内基金
貸付・金銭信託	中央三井信託銀行日本橋営業部	3,512,955	藤原賞
公社債信託	野村証券本店	16,540,000	国際学術交流基金
	大和証券本店	9,420,000	
	日興証券 大手町支店	5,650,000	堀内基金
	合計	53,972,955	
2. その他の固定資産			
MMF	中央三井信託銀行日本橋営業部	3,082,951	退職給与引当金
什器備品		1,279,186	
	合計	4,362,137	
3. 流動資産			
現金	手元保管	88,838	
普通預金	第一勧業銀行 大手町支店	7,372,025	
郵便振替預金	中央郵便局	28,438,636	
公社債信託	野村証券 東京支店	8,591,405	
	日興証券 大手町支店	8,529,222	
期末在庫高		2,175,437	
	合計	55,195,563	

計算書類に対する注記

2001年3月 31日

1. 重要な会計方針

- 1) 有価証券の評価基準及び評価方法、... 総平均法による原価基準を採用している。
- 2) 固定資産の減価償却、... 什器備品は、定率法による減価償却を実施している。
- 3) 引当金の計上基準、... 退職給与引当金は、期末退職給与の要求額に相当する金額を計上している。
- 4) 資金の範囲、... 現金預金、預り金及び前受金を含めることとしている。
なお当期末残高は、2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額の内容は次の通りである。

科目	当期末残高	公益部門	収益部門
現金	88,838	538	88,300
普通預金	7,372,025	4,359,310	3,012,715
郵便振替貯金	28,438,636	28,438,636	0
公社債信託	17,120,627	17,120,627	0
(合計)	(53,020,126)	(49,919,111)	(3,101,015)
前受会費	0	0	0
預り金	30,527,474	30,527,474	0
法人税等引当金	1,275,400	0	1,275,400
次期繰越収支差額	21,217,252	19,391,637	1,825,615

3. 基本財産の増減及びその残高は次のとおりである。

科目	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本金	0	0	11,750,000
藤原賞	0	0	3,512,955
山本・正野論文賞	0	0	6,500,000
国際学術交流基金	0	0	25,960,000
堀内賞	0	0	6,250,000
合計	0	0	53,972,955

4. 固定資産の取得価格、減価償却累計額、及び当期末残高は次のとおりである。

科目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	9,585,960	8,306,774	1,279,186
合計	9,585,960	8,306,774	1,279,186

(社団法人) 日本気象学会

部門別収支の集計(決算)

2,000年度

2000年4月1日より

2001年3月31日まで

会計報告書表

部門	純収入(A)	純支出(B)	純収支差額(A-B)	管理費分担(C)	利益(A-B-C)
公益事業					
天気	31,450,732	20,575,871	10,874,861	9,912,174	962,687
気象集誌	20,063,749	10,659,476	9,404,273	6,323,394	3,080,879
大会・予稿集	9,682,878	5,414,847	4,268,031	3,051,706	1,216,325
教育と普及	994,780	1,391,300	△396,520	313,520	△710,040
表彰・奨励	144,768	1,747,345	△1,602,577	45,626	△1,648,203
国際学術交流	447,947	621,250	△173,303	141,177	△314,480
受託業務	210,000	0	210,000	66,185	143,815
その他事業	130,078	443,255	△313,177	40,996	△354,173
雑収入・予備費	742,003	0	742,003	233,853	508,150
退職金	0	629,971	△629,971	0	△629,971
合計	63,866,935	41,483,315	22,383,620	20,128,631	2,254,989

純収入＝各部門の公益事業分収入
 純支出＝各部門の公益事業分支出
 純収支差額＝純収入－純支出
 管理費分担＝管理費の公益事業分の分担
 (純収入に比例して分担)
 利益＝純収入－純支出－管理費分担
 ＝純収支差額－管理費分担

部門	純収入(A)	純支出(B)	純収支差額(A-B)	管理費分担(C)	利益(A-B-C)
収益事業					
天気	5,719,422	3,047,397	2,672,025	2,064,660	607,365
気象集誌	1,287,845	1,073,107	214,738	464,901	△250,163
気象研究ノート	7,469,660	4,028,744	3,440,916	2,696,480	744,436
予稿集	1,008,750	66,921	941,829	364,150	577,679
書店等・予備費	2,492,883	0	2,492,883	899,908	1,592,975
合計	17,978,560	6,216,169	9,762,391	6,490,099	3,272,292

純収入＝各部門の収益事業分収入
 純支出＝各部門の収益事業分支出
 純収支差額＝純収入－純支出
 管理費分担＝管理費の収益事業分の分担
 (純収入に比例して分担)
 利益＝純収入－純支出－管理費分担
 ＝純収支差額－管理費分担

議案 3

2000 年度社団法人日本気象学会監査報告

2000 年度社団法人日本気象学会の財産及び業務執行の状況を次のとおり報告する。

1. 監査月日

2001 年 4 月 6 日

2. 監査場所

東京都千代田区大手町 1-3-4 気象庁内
日本気象学会事務局

3. 監査帳簿

- (1) 2000 年度会計監査受験調査
- (2) 総勘定元帳
- (3) 財産目録
- (4) 現金出納帳
- (5) 預貯金出納帳
- (6) 備品台帳
- (7) 領収書類
- (8) 預金証書および普通預金通帳
- (9) 郵便振替受払通知票
- (10) 現金受領簿
- (11) 小切手帳および小切手受払簿
- (12) 2000 年度事業報告書

4. 監査内容

(1) 2000 年度収支計算書およびその他の計算書について、その経理状況を監査すると共に財政状況を調べた。

(2) 上記の帳簿類について照合を行うと共に出納状況記載事項の監査を実施した。

(3) 学会の運営状況を聴取し意見を述べた。

5. 監査意見

2000 年度(2000 年 4 月 1 日から 2001 年 3 月 31 日まで)の会計に関する帳簿類は、照合の結果、正確であり、収支計算書その他の計算書は正しいと認める。

会費の納入状況は昨年度に引き続き順調に推移している。単年度収支では収入は減少したが、支出も縮小されたため、公益事業、収益事業ともに黒字となり、約 500 万円の黒字となった。

昨年も指摘したが、黒字は数年来続いており、この蓄積を 2003 年開催の IUGG 総会費用、他の新規事業、会計事務の近代化等に向けて計画的に有効利用することを望む。

2002 年から開始されるペイオフに対応して貯金等の基本財産、流動資産の分散化が行われた。今後も、資産の安定的な運用に留意されたい。

会計業務は年々規模が拡大している。事務局における会計業務の効率化と責任分散体制の構築を図るため、パソコンによる会計システムを導入

するなど効率的な事務体制作りが急務である。

会員数については、通常会員が 64 名減少し、B 会員の減少が 48 名にも達した。再び、B 会員が減少する傾向にもどったので、本格的な対策が望まれる。

大会は参加者数・発表者数の増加傾向が続き、ポスターセッション、分科会方式が定着してきた。一方、ポスター会場の不足、分科会での発表・討論時間の不足等の問題が生じてきている。問題点の解決に向けた対応が必要である。

気象学会でも、ホームページ等の充実が図られているが、管理者の負担が大きくなってきている。軽減する対策が必要である。

今後の気象学及び気象学会のあり方について、中堅・若手会員による評議員会で議論された。今後の事業の改善に反映されることが望まれる。

「天気」、「気象集誌」は計画通り発刊されたが、「気象研究ノート」は 2 号しか発刊されず、予算と決算の差が大きい。実態に見合った発刊計画に改めるべきである。また、他の出版物との位置付け、研究ノートのあり方を検討する必要がある。

「気象集誌」が 100% 英文化になり、日本語要旨が「天気」に掲載されるようになった。これを機会に「気象集誌」に発表された研究成果の普及を一層推進されたい。

今年、定款改訂後はじめての総会であったが、理事会、事務局の努力のほか、学会員の協力により無事総会が成立した。しかし、出席者の減少が顕著であり、出席者の議論が議決に反映されにくいという問題点が指摘されている。今後、適切な対策をとっていく必要がある。

この一年間、様々な学会活動に熱心に取り組んでこられた理事、各委員会委員、事務局の努力に敬意を表する。

2001 年 4 月 6 日

監事

徳野正己



監事

永田 雅



議案 4.

日本気象学会細則の追加および規定の一部改訂

1. 細則追加の内容と趣旨

(1) 役員・委員を委嘱するには役員・委員の所属機関の長に学会が委嘱願いを提出する。役員¹の任期は定款第 19 条によって 2 年と規定されているが、委員の任期も 2 年であるが、気象学会の細則・受賞者選定規定には委員の任期が明示されていない。

このため機関によっては 1 年の任期しか認めない場合もあり、次年度は改めて委嘱の書類を出さねばならない。事務が煩雑なので、委員の任期が 2 年であることを細則に明記したい。

細則の追加

下記の第 4 章 第 10 条を追加し、現行の第 4 章 第 10 条以下を繰り下げるものとする。

記

第 4 章 委員の任期

第 10 条 定款第 25 条の委員の任期は 2 年とする。但し、再任は妨げない。委員は任期満了後も後任者が就任するまでは、なおその職務を行う。

2. 規定の改訂

細則第 4 章の新基準に適合するように、学会賞、藤原賞、山本・正野論文賞、堀内賞受賞者選定規定の一部を改訂する。

規定の改訂 条項対照

1) 学会賞受賞者選定規定

2. 委員会は、担当理事を長とする約 5 名の推薦委員をもって組織し、各委員は毎年 9 月理事長が会員の中よりこれを委嘱する。……………

2. 委員会は、担当理事を長とする約 5 名の推薦委員をもって組織し、各委員は理事長が原則として会員の中よりこれを委嘱する。……………

2) 藤原賞受賞者選定規定

2. ……………、
各委員は毎年 9 月理事長が会員の中よりこれを委嘱する。

2. ……………
各委員は理事長が原則として会員の中

よりこれを委嘱する。……………

3) 山本・正野論文賞受賞者選定規定

2. ……………、

各委員は毎年1月理事長が会員の中よりこれを委嘱する。

2. ……………

各委員は理事長が原則として会員の中よりこれを委嘱する。……………

4) 堀内賞受賞者選定規定

2. ……………、

各委員は毎年1月理事長が会員の中よりこれを委嘱する。

2. ……………

各委員は理事長が原則として会員の中よりこれを委嘱する。……………

議案 5.

理事の辞任に伴う追加推薦について

日本気象学会第31期の理事から理事を辞任したいとの希望が理事長に対して提出され、日本気象学会定款第21条の規定に従って理事会としてこれを承認しました。また、後任の理事候補としては、日本気象学会細則第6条第11項の規定により、理事会の議を経て、各所属支部から推薦のあった会員を理事長から推薦することにいたしました。総会で審議していただくようお願いいたします。

なお、今回辞任された理事と、後任理事候補者は以下の通りです。(敬称略)

辞任理事：巽 保夫理事（北海道地区選出）

古賀 晴成理事（関西地区選出）

長坂 昂一理事（九州地区選出）

後任理事候補者：

北海道地区 1名

候補者名：藤谷徳之助会員

所 属：気象庁札幌管区気象台

生年月日：1945年10月4日

推薦理由：

藤谷会員は、現在札幌管区気象台長の職にあるが、これまで気象研究所において境界層の研究に長年従事し、この分野での専門家として多く実績の残し、このあと気象庁観測部に移り観測業務の分野で活躍した。また気象学会においては、第26期から第28期の6年間全国理事を務め、学会活動の中核として活躍してきた。また九州支部の常任理事も務め地方での学会活動にも貢献した。このような豊富な経験をもつ藤谷会員は、日本気象学会発展のために活躍されることが期待される。以上のことから、理事候補として推薦する。

関西地区 1名

候補者名：巽 保夫会員

所 属：気象庁大阪管区気象台

生年月日：1943年12月23日

推薦理由：

巽 会員は、気象庁での長年にわたる勤務において、数値予報をはじめとする予報業務全般に従事してきており、この分野の動向や研究に関する専門知識に精進している。

また、この3月までは北海道地区選出の理事として、地域における学会員の情報交換の促進などに努めてきた。これらの豊富な経験を活かし、引き続き、関西地区を中心に幅広

い視点から学会の活動に貢献することがきたいされる。以上のことから、異会員を理事候補として推薦する。

九州地区 1名

候補者名：平木 哲会員

所 属：気象庁福岡管区気象台

生年月日：1947年3月29日

推薦理由：

平木会員は現在、福岡管区気象台長の職にあるが、これまで気象庁において数値予報、気象衛星および航空気象などの業務に従事し、これらの分野に関する多くの知識を有している。これらの豊富な経験と知識を生かして幅広い視点から学会の活動に貢献することが期待される。

以上のことから、平木会員を理事候補として推薦する。

議案 6.

第31期日本気象学会名誉会員候補の推薦について

表記につき、名誉会員推薦内規に従い、慎重に審議し、基本原則に基づき6名の方々を推薦いたします。

推薦候補者名（五十音順、御名前は会員名簿の記載による）

Ooyama Katsuyuki 会員：熱帯低気圧の発生及びCISK理論の研究の業績

栗原宜夫会員：熱帯低気圧数値予報の研究の業績

Sasaki Yoshi K. 会員：変分法による気象解析とメソ気象の研究および教育に関する業績

竹内清秀会員：乱流及び大気境界層の研究の業績

松本誠一会員：日本の総観規模及びメソスケール擾乱の研究の業績

真鍋淑郎会員：大気大循環及び気候変動の研究の業績

議案 7. 2001年度事業計画（案）

1. 機関誌等の刊行

- (1) 天 気 48巻4号～49巻3号
- (2) 気象集誌 79巻2号～80巻1号
- (3) 気象研究ノート 200号～203号
- (4) 大会予稿集
春季大会 79号 秋季大会 80号

2. 会議等の開催

- 通常総会 2001年度総会（5月9日）
- 理事会 3回（5月、10月、3月）
- 常任理事会 11回
- 評議員会 1回
- 監事会 1回（4月）

3. 各委員会等の活動

- 天気編集委員会
- 気象集誌編集委員会
- 気象研究ノート編集委員会
- 総合計画委員会
- 講演企画委員会
- 教育と普及委員会
- 学会賞候補者推薦委員会等
- 国際学術交流委員会
- 電子情報委員会
- 用語検討委員会
- 地球環境問題委員会
- 名誉会員推薦委員会

4. 大会及び研究会等

- (1) 春季大会
2001年5月8（火）～10日（木）
東京：東京大学 本郷キャンパス
（文京区本郷7-3-1）
（担当：東大気候システム研究センター）

シンポジウム 5月9日（水）
題名：21世紀の気象学－将来展望－

(2) 秋季大会

2001年10月10（水）～12日（金）
岐阜市：県民文化ホール「未来会館」
（岐阜市学園3-42）

（担当：中部支部）

シンポジウム 10月11日

題名：東海豪雨

－自然・都市・人間の関わり－

(3) 研究連絡会、月例会等

- ・ IGBP / GAIM研究連絡会
- ・ 極域・寒冷域研究連絡会
- ・ メソ気象研究連絡会
- ・ オゾン研究連絡会
- ・ 大気海洋陸面相互作用研究連絡会
- ・ 気象教育研究連絡会
- ・ 山の気象シンポジウム
- ・ 長期予報と大気大循環
- ・ レーダー気象

(4) 夏の学校

期日：2001年7月28（土）～30日（月）
場所：休暇村指宿（鹿児島県指宿）

5. 研究業績の表彰

- ・ 日本気象学会賞
- ・ 藤原賞
- ・ 山本・正野論文賞
- ・ 堀内賞
- ・ 奨励賞

6. 支部活動

- (1) 各支部研究発表会
- (2) 気象講演会

- 1) 北海道支部
期 日：2001年10月27日予定
題 目：未定

- 2) 東北支部
期 日：2001年10月(予定)
題 目：未定

- 3) 関西支部
4回(近畿地区2会、中国、四国
地区で各1回)

- 4) 九州支部
期 日：2002年3月(予定)
題 目：未定

- 5) 沖縄支部
期 日：2001年9月予定
題 目：未定(防災気象関係)

7. 普及活動

- (1) 第35回夏季大学
期 日：2001年8月予定
題 目：未定
- (2) 北海道支部第19回夏季大学
期 日：2001年7月下旬予定
題 目：新しい気象学
- (3) 中部支部 第8回気象講座
期 日：2001年8月(予定)
題 目：未定
- (4) 関西支部第23回夏季大学
期 日：2001年7月予定
題 目：未定
- (5) 気象技術講習会

8. 対外活動

- (1) 地球環境科学関連学会協議会参加
- (2) 地球惑星科学関連学会合同大会の
テーマ別セッション共催
- (3) 風工学シンポジウム共催

- (4) IUGG2003年大会準備参加
- (5) 第6回国際二酸化炭素会議(仙台)
後援
- (6) 第38回理工学における同位元素・放
射線研究発表会共催
- (7) 理論応用力学講演会共催

9. 国際学術交流活動

気象学における国際的な発展及び交流
を図るための、国際交流事業への支援を
行う

10. 電子情報関連

- (1) 学術情報センター電子図書館サービス
への対応
- (2) 学会ホームページ管理運営
- (3) 気象データの有効利用
- (4) メーリングリストの管理

11. 事務局の構成

事務局長	島津 成之
	館 英男
	鈴木 忠臣

収支予算書(案)

(社団法人) 日本気象学会

勘定科目	0年度		1年度 予算(B)	内		増減 (B) - (A)	備考
	予算(A)	決算		公益部門	収益部門		
1. 会費収入	39,701,000	41,145,860	40,057,000	40,057,000	356,000		
通常会員	30,172,000	31,183,308	30,739,000	30,739,000	567,000		
特別会員	720,000	1,120,612	736,000	736,000	16,000		
団体会員	5,859,000	5,933,190	5,652,000	5,652,000	△207,000		
賛助会員	2,950,000	2,908,740	2,930,000	2,930,000	△20,000		
2. 基本財産運用	564,995	592,715	490,000	490,000	△74,995		
一般基金	253,475	144,768	240,000	240,000	△13,475		
国際交流基金	311,520	447,947	250,000	250,000	△61,520		
3. 事業収入	38,878,000	35,530,834	38,988,000	15,571,000	110,000		
天気	6,985,000	6,565,139	7,095,000	910,000	110,000		投稿料、別刷代、広告料
気象雑誌	7,020,000	7,010,759	7,020,000	5,250,000	0		投稿料、別刷代
気象研究ノート	11,885,000	7,469,660	11,885,000	11,885,000	0		04冊 (199-202)
予報集	6,152,000	7,249,588	6,152,000	5,240,000	0		
大会開催	3,080,000	3,442,040	3,080,000	3,080,000	0		大会参加費
教育と普及	886,000	994,780	886,000	886,000	0		夏季大学受講料とテキスト
書店股	2,665,000	2,458,790	2,665,000	0	0		
業務受託	0	210,000	0	0	2,665,000		
その他事業収入	205,000	130,078	205,000	205,000	0		他の刊行物等
4. 補助金収入	4,510,000	3,800,000	3,800,000	3,800,000	△710,000		
科学研究費	4,510,000	3,800,000	3,800,000	3,800,000	△710,000		
その他	0	0	0	0	0		
5. 寄付金収入	0	0	0	0	0		
寄付金	0	0	0	0	0		
募金	0	0	0	0	0		
6. 基本財産取崩収入	0	0	0	0	0		
一般基金	0	0	0	0	0		
国際交流基金	0	0	0	0	0		

(社団法人) 日本気象学会

収支予算書(案)

会計報告書表

2001年4月1日より
2002年3月31日まで

2,001年度

(円)

1. 収入の部(2)

勘定科目	0年度 予算(A)	0年度 決算	1年度 予算(B)	内		増減 (B)-(A)	備考
				公益部門	収益部門		
7. 引当金取崩収入	0	0	2,113,000	2,113,000		2,113,000	
退職金引当金	0	0	2,113,000	2,113,000		2,113,000	
8. 雑収入	502,900	776,096	655,500	605,500	50,000	152,600	引当金, 運用財産
受取利息	32,900	202,094	185,500	185,500		0	
著作権複写許可料	420,000	279,509	420,000	420,000		0	
印税	50,000	34,093	50,000	50,000		0	
その他	0	260,400	0	0		0	
当期収入合計	84,156,895	81,845,495	86,103,500	62,636,500	23,467,000	1,946,605	
前期繰越収支差額	16,489,971	16,489,971	21,217,252	19,391,637	1,825,615	4,727,281	
収入合計	100,646,866	98,335,466	107,320,752	82,028,137	25,292,615	6,673,886	

(円)

2. 支出の部(1)

勘定科目	0年度 予算(A)	0年度 決算	1年度 予算(B)	内		増減 (B)-(A)	備考
				公益部門	収益部門		
I. 事業費	58,564,000	49,069,513	56,047,000	42,504,000	13,543,000	△2,517,000	
天気	25,946,000	23,623,268	24,764,000	21,267,000	3,497,000	△1,182,000	
印刷製本費	19,961,000	17,693,084	18,779,000	15,339,000	3,440,000	△1,182,000	
編集委員会費	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000		0	
通信運搬費	4,785,000	4,730,184	4,785,000	4,728,000	57,000	0	
気象集誌	11,794,000	11,732,583	11,082,000	9,712,000	1,370,000	△712,000	
印刷製本費	8,150,000	8,664,719	7,438,000	6,338,000	1,100,000	△712,000	
編集委員会費	1,289,000	1,289,000	1,289,000	1,289,000		0	
校正料	600,000	409,497	600,000	600,000		0	
通信運搬費	1,755,000	1,369,367	1,755,000	1,485,000	270,000	0	

(社団法人) 日本気象学会

収支予算書(案)

会計報告書表

2001年4月1日より
2002年3月31日まで

2,001年度

2. 支出の部(2)	0年度 予算(A)	0年度 決算	1年度 予算(B)	内		増減 (B)-(A)	備考
				公益部門	収益部門		
気象研究ノート	8,793,000	4,028,744	8,620,000	8,620,000	8,620,000	△173,000	200号から203号を発行予定
印刷製本費	6,400,000	3,110,515	6,400,000	6,400,000	6,400,000	0	
編集委員会費	613,000	335,000	440,000	440,000	440,000	△173,000	
原稿料	840,000	184,800	840,000	840,000	840,000	0	
通信運搬費	940,000	398,429	940,000	940,000	940,000	0	
予備費	2,412,000	2,449,078	2,412,000	2,356,000	56,000	0	
印刷製本費	1,672,000	1,647,097	1,672,000	1,616,000	56,000	0	
通信運搬費	740,000	801,981	740,000	740,000	740,000	0	
大会開催	4,460,000	3,032,690	4,360,000	4,360,000	4,360,000	△100,000	本部からの補助金
春秋大会	4,000,000	2,700,960	4,000,000	4,000,000	4,000,000	0	地球環境科学関連学会協議会他
その他会合	310,000	181,730	210,000	210,000	210,000	△100,000	若手会補助を含む
講演企画委	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	0	
教育と普及	1,369,000	1,391,300	1,369,000	1,369,000	1,369,000	0	
委員会	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	0	
夏季大学開催	369,000	323,900	369,000	369,000	369,000	0	会場費、設営費、印刷費
支部夏季大学補助	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	0	支部開催の夏季大学を補助
夏季大学テキスト	550,000	617,400	550,000	550,000	550,000	0	(北海道、関西、中部)
表彰・奨励	2,170,000	1,747,345	1,820,000	1,820,000	1,820,000	△350,000	
賞金	1,000,000	800,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	0	
委員会	310,000	262,925	310,000	310,000	310,000	0	
雑費	860,000	684,420	510,000	510,000	510,000	△350,000	受賞者旅費、雑費
国際学術交流	1,320,000	621,250	1,320,000	1,320,000	1,320,000	0	
参加旅費補助	1,100,000	450,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	0	
交流事業	200,000	150,000	200,000	200,000	200,000	0	
委員会費	20,000	21,250	20,000	20,000	20,000	0	
研究連絡会	300,000	43,255	300,000	300,000	300,000	0	極域、オゾン、メソ、陸面大気海洋、 教育普及、GAIM
受託業務費	0	0	0	0	0	0	
その他事業費	0	400,000	0	0	0	0	

会計報告書表
2001年 4月 1日より
2001年 3月31日まで

収支予算書(案)

(社団法人) 日本気象学会

2. 支出の部(3) (円)

勘定科目	0年度 予算(A)	0年度 決算	1年度 予算(B)	内		増減 (B)-(A)	備考	
				公益部門	収益部門			
2. 管理費	27,478,000	26,618,730	31,522,000	24,014,000	7,508,000	4,044,000	収益収入比率 25.00%	
人件費	15,210,000	14,813,190	15,186,000	11,389,500	3,796,500	△24,000		
職員給料	12,705,000	12,339,579	12,566,000	9,424,500	3,141,500	△139,000		
福利厚生費	750,000	699,571	823,000	617,250	205,750	73,000		
臨時雇用賞金	1,755,000	1,774,040	1,797,000	1,347,750	449,250	42,000		
退職金	0	0	2,113,000	2,113,000		2,113,000		
事務局関連経費	7,227,000	7,154,323	7,192,000	5,469,000	1,723,000	△35,000		
賃借料	1,566,000	1,574,120	1,566,000	1,174,500	391,500	0		施設保守維持分担金を含む
光熱水料	150,000	101,841	150,000	112,500	37,500	0		
消耗品	850,000	855,447	372,000	279,000	93,000	△478,000		
什器備品	380,000	397,950	300,000	300,000	0	△80,000		事務器 調度品等
借料	258,000	257,040	258,000	193,500	64,500	0		複写機レンタル料
通信運搬費	1,573,000	1,640,310	1,714,000	1,285,500	428,500	141,000		郵便, 電話, 宅急便
印刷製本費	1,300,000	1,099,350	1,300,000	975,000	325,000	0		封筒, 雑誌製本, 総会資料
旅費交通費	10,000	7,500	10,000	7,500	2,500	0		
会議費	10,000	6,600	10,000	7,500	2,500	0		
会費	30,000	1,000	20,000	15,000	5,000	△10,000		
雑用費・交際費	370,000	508,046	370,000	277,500	92,500	0		振込手数料など
手数料	350,000	321,939	360,000	270,000	90,000	10,000		会費請求書作成
事務委託費	330,000	336,500	340,000	255,000	85,000	10,000		会計士, 学術協力財団賛助会費等
諸会費・謝金	50,000	46,680	422,000	316,500	105,500	372,000		コピー・カウンター料その他
その他								

(社団法人) 日本気象学会

収支予算書(案)

会計報告書表

2001年度
2002年3月31日まで

勘定科目	0年度		1年度 予算(B)	内		増減 (B)-(A)	備考
	0年度 予算(A)	0年度 決算		取益部門			
				公益部門	取益部門		
電子情報	170,000	149,447	170,000	127,500	42,500	0	OCNサービス料、電子情報委員会費 会員データベース委託管理及び改良 消費税他 返却金等
電算機開発管理	380,000	376,146	980,000	735,000	245,000	600,000	
総会・役員会	1,961,000	1,443,524	1,961,000	1,470,750	490,250	0	
選挙費用	0	0	759,000	569,250	189,750	759,000	
支部交付金	2,500,000	2,421,700	2,500,000	1,875,000	625,000	0	
租税公課	30,000	0	661,000	265,000	396,000	631,000	
その他	0	260,400	0	0	0	0	
3. 基本財産繰入	0	0	0	0	0	0	
一般基金	0	0	0	0	0	0	
国際交流基金	0	0	0	0	0	0	
4. 引当金繰入	620,000	629,971	705,500	705,500	85,500	85,500	
退職引当金	620,000	629,971	705,500	705,500	85,500	85,500	
5. 予備費	1,000,000	0	1,000,000	750,000	250,000	0	
当期支出合計	87,662,000	76,318,214	89,274,500	67,973,500	21,301,000	1,612,500	
当期(純)収支差額	△3,505,105	5,527,281	△3,171,000	△5,337,000	2,166,000	334,105	
税引前次繰越収支差額	12,984,866	22,017,252	18,046,252	14,054,637	3,991,615	5,061,386	

(円)

2. 支出の概(4)